

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ ル マ エ 代表者名 代表取締役社長 前田 俊一 (コード番号:6264 東証マザーズ) 問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久 (TEL.0996-64-2900)

# 平成26年10月度月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成26年10月度の月次受注残高情報を開示いたします。

記

## 1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率	
半導体分野	100	34.3%	△5. 1%	67.5%	
FPD分野	49	16. 9%	22.2%	△32.0%	
その他分野	143	48.9%	_	385.4%	
合計	292	100.0%	84.4%	80.7%	

### 2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H25.11月	12月	H26.1月	2月	3 月	4月
半導体分野	64	63	67	72	70	80
FPD分野	68	62	39	8	49	47
その他分野	64	121	219	191	61	21
合計	197	248	325	272	181	149

区分	5月	6月	7月	8月	9月	10 月
半導体分野	84	89	77	94	105	100
FPD分野	58	71	67	56	40	49
その他分野	43	62	31	13	12	143
合計	186	222	176	163	158	292

#### 3. 月次受注残高の概況

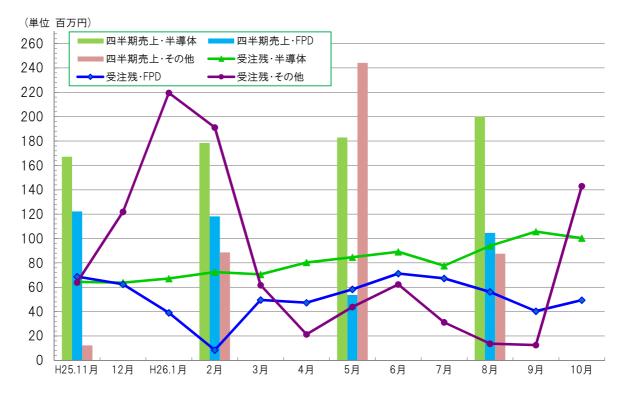
平成 26 年 10 月末の受注残高は、半導体分野においては、受注は順調ながら、出荷検収も好調に推移したことから対前月増減率で 5.1%減、対前年同月増減率では 67.5%増の 100 百万円となりました。 F P D 分野においては、受注が若干持ち直し、対前月増減率で 22.2%増、対前年同月増減率では 32.0%減の 49 百万円となりました。その他分野におきましては、光学関連においてユニット受注があり、対前月増減率は大幅増、対前年同月増減率では 385.4%増の 143 百万円となりました。これらの結果、平成 26 年 10 月末の受注残高は、対前月増減率 84.4%増、対前年同月増減率 80.7%増の 292 百万円となりました。

今後の見通しとしましては、半導体分野では、受注品種の拡大によって受注高および売上高の増加傾向は継続する見込みです。FPD分野では、引き合いは好転しながらも、本格的な受注拡大は年末あたりとなる見込みです。また、その他分野では、山谷はありながらもリピート受注を継続的に確保できる見通しを持っております。

全般的には、概ね好調な市場環境が続くなかで iPhone6 の販売好調など市場の追い風もあり好転しております。このような環境のなかで、社内生産力の増強および生産性の改善に加え、協力企業との取引拡大により生産能力を高め受注拡大を目指します。

以 上

#### (参考:分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



- 注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。
  - 2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短いか当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。